

学校評価(共通項目)評価書

柱	No	評価項目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え	関係者評価	学校関係者評価者の説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	3.5 A 昨年 3.5 A	・学校教育目標の理念を一層周知し、一人一人の教職員が理念実現のために学校(校務分掌)、学年(学年分掌)、学級指導、教科指導等で組織的に取り組んでいく。 ・コロナ対応で、行事が削減された分、授業時数をしっかりと確保することができた。	4.0 A 昨年 3.9 A	・休校が長く続いた後、「学校へ行くことが楽しい」と答えた生徒が多いたることが、先生達の今までの努力を感じられる。 ・生徒達が生き生きとしていることから学校教育目標が達成できた年度である。 ・家庭では取り組みえない課題に取り組んでいる。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。 (※いじめの未然防止と早期発見、再発防止等の組織的な対応を含む)	3.5 A 昨年 3.4 A	・生徒指導主任を中心に良く取り組んでいる(共有が図られている) ・避難経路脇の棚(清掃用具倉庫)から物が落ちてくると、避難の邪魔になっているため、改善が必要である。 ・避難訓練後は教員も反省をし、改善につなげる必要がある。	4.0 A 昨年 3.9 A	・避難訓練など、危機意識が低い子どもも多くいる。日々の訓練が大切であることや意識の高まりが子どもを通して感じられる。 ・早期発見、迅速な対応に徹し、今後も安心安全な学校を期待している。 ・コロナに気を配りながら、クラス全体で取り組む行事を心がけている。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	3.3 B 昨年 3.2 B	・今年度は、コロナ対応等で授業時数の確保が課題となったが、限られた時間数の中で密度の高い授業を実施することができた。	3.9 A 昨年 3.3 B	・コロナ禍の中で、学力の差が大きくなってきていると思うが、根気強く対応しているように感じ取れた。 ・コロナ禍での基礎学力定着のため、密度の高い授業を評価します。 ・教師も生徒も力をつけたと思います。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	3.6 A 昨年 3.7 A	・コロナの影響で、生徒が活動できる場が少なく、教員主導の授業が多くなってしまったため、生徒の関心・意欲を高めることが難しかった。 ・コロナ禍であっても工夫しながらペアやグループワークに取り組めた。 ・3年英語は全クラス・全時間がTTで実施できた。	4.0 A 昨年 3.7 A	・コロナでYouTubeをたくさん取り入れたり、より楽しく学習できるように工夫していた。 ・今後に向けて、これからも工夫して欲しい。 ・英語のTTは、人員の確保ができれば是非次年度もお願います。 ・授業を拝見した際に、先生の工夫と生徒の緊張感が感じられる。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	3.2 B 昨年 3.1 B	・学年及び学校職員全体で生徒に守らせる基準を共有し、指導は妥協しないでおこなうことができた。 ・生徒の実態や現代社会にあわせてルールを再検討することも必要である。 ・コロナ対応は柔軟に対応することができた。	3.9 A 昨年 3.9 A	・規律ある態度を学ぶ機会が、今年は減少してしまつたように思えるが、日々先生方が伝えることで、生徒にも規律とは何かが伝わっていると思う。 ・登下校時の男子生徒が進んであいさつしてくれるようになり、人数も増えた。 ・登下校時の服装がきちんと身につけている。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	3.5 A 昨年 3.5 A	・時程表が複数あったため、特別な時間割等はできるだけ減らすと、ユニバーサルデザインのひとつとなり、子供達は落ち着いて生活しやすくなる。 ・学校外(放課後や家庭内)の指導案件(喫煙、SNS等)に対して、どこまで学校で指導できるのか検討が必要である。	4.0 A 昨年 3.9 A	・1・2・3年生と心が最も成長する時期に、きちんと生徒と向き合ってくれた。 ・子どもの健やかな成長に、学校が大きな力となっていることがうかがわれる。 ・現状を分析し、改善する努力をされている。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	3.5 A 昨年 3.5 A	・コロナの影響で普段と異なる状況であったが、生徒はよく頑張っていた。 ・部活動はガイドラインに基づいて活動を行うことができた。	3.9 A 昨年 3.9 A	・コロナ禍で運動不足になりがちだが、YouTubeでもダンスで身体を動かすことへの意識など考えられていた。 ・外から見かける部活動の様子から一生懸命取り組んでいる。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	3.4 A 昨年 3.4 A	・コロナで普段にない対応が求められる中、適切に対応できた。 ・コロナの中で、できることを最大限おこなう方向で対応し、体育祭も実施することができた。 ・朝会や表彰等は放送で実施することで、生徒の意欲を高めることができた。	4.0 A 昨年 4.0 A	・体育祭を実施するなど、とても大変な中でよく考えられ、みんなが楽しめるようになっていて、子供達の明るい笑顔が見られて良かった。 ・学校、教職員の皆さんの頑張りにより頭が下がります。 ・コロナ禍の中で、緊張感を持ちながら、体育祭をおこなった。
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	3.3 B 昨年 3.2 B	・放課後の自習室、簡単な問題を考える、部活の指導等、地域に担って頂ける内容を検討していきたい。 ・保護者会の回数が減つたものの、体育祭や合唱コンクールを参観して頂くことができた。	3.6 A 昨年 3.4 A	・コロナ禍で保護者と連携が取りにくかったが、手紙やメールなどで学校の状況を伝えてくれた。 ・校内整備、地域清掃等、実体験を通して身に付けさせた。
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	3.1 B 昨年 3.2 B	・放課後に地域住民から学校に入る情報(生徒が地域で…)を、PTAと連携して対応できると良い。 ・今年度はコロナもあって、なかなか連携しにくかった。 ・保護者の協力が得られない案件が増え、対応が難しくなっている。	3.4 A 昨年 3.1 B	・保護者や地域の人が学校に行く機会が減つてしまい、協力することが難しかった。 ・PTAとして、消毒薬の提供ができて良かった。 ・学校に協力できることがあつたら遠慮無く申し出てください。 ・コロナ禍で、地域の方もなかなか出にくくなつているとの話を聞く。

注:「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA~Dで記入

Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A:3.4以上、B:2.6以上、C:2.0以上、D:2.0未満